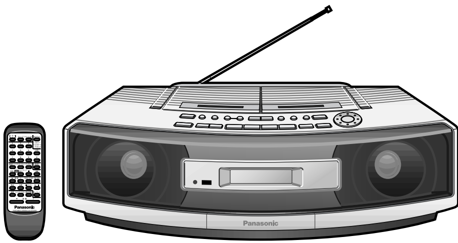
Panasonic®



ポータブルステレオ CD システム

取扱説明書

品番 RX-ED50

上手に使って上手に節電

保証書別添付

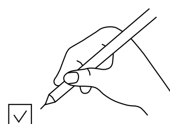
COMPACT disc DIGITAL AUDIO

このたびは、ポータブルステレオ CD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

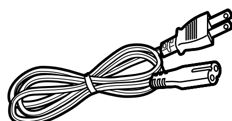
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

付属品の確認

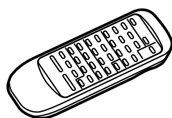


まず最初に付属品を確かめてください。

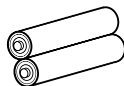
□電源コード（品番：RJA0059-J）････1本



□リモコン（品番：EUR644863）････1個



□リモコン用乾電池（単3形）･･････････2個



付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番を表します。

お願い

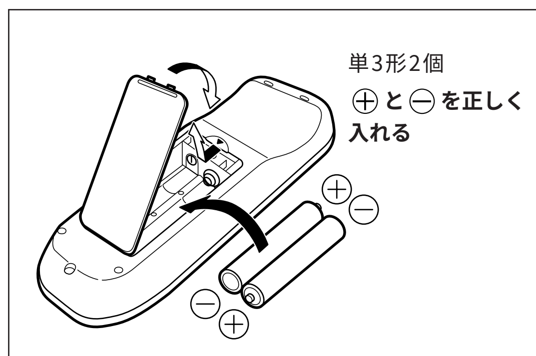
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

本書の見かた

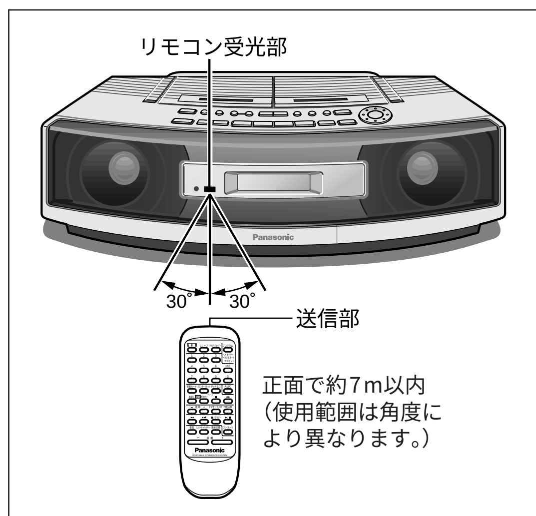
本書では、本体での操作を主にして説明しています。
リモコンでも、本体のボタンと同様の名前のものは、同じように操作できます。
（リモコンのみで行う操作には、**リモコンのみ**と記載しています。）
それぞれのボタンについては、28〜29ページ「各部のなまえ」をご参照ください。

リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる



リモコンの使いかた



■正しく送信するために

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意する。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

■リモコンの故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

もくじ

まず
確認と準備

すぐ
使いたいとき

もっと
使いこなしたいとき

もし
必要なとき

ご使用前に
使いかた
必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

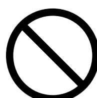
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源コードについて

電源コード･プラグを破損するようなことはしない

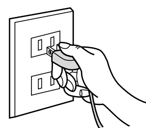
［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない］



- 傷んだまま使用すると、感電･ショート･火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

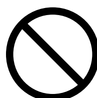
電源プラグは根元まで確実に差し込む

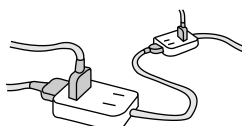




- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

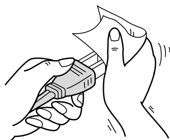




- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる





- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

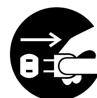
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない


ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

もし異常が起こったら

以下のようなときは電源プラグを抜く


電源プラグを抜く

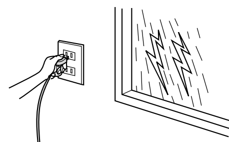
- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ、機器やプラグに触れない


接触禁止



- 感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない



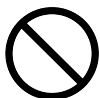


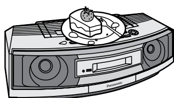
- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

⚠警告

ご使用について

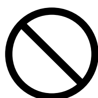
機器の上にものを載せない





- 開閉時に、ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

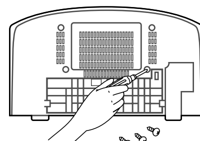
機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない



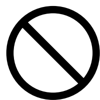


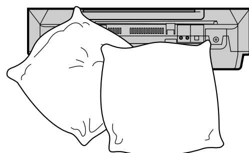
- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠注意

設置・接続について

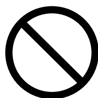
放熱を妨げない

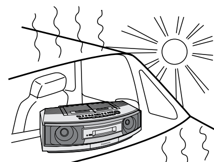




- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
  後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

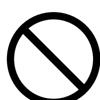
異常に温度が高くなるところに置かない

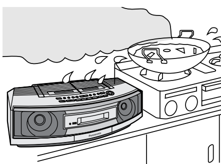




- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

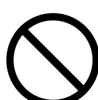
油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

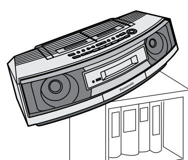




- 電気や油が水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない





- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う



- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として、充電式電池を使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

安全上のご注意

⚠注意

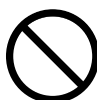
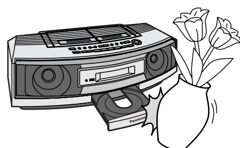
ご使用について

CD挿入口の奥には手を入れない


指に注意

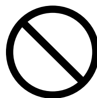
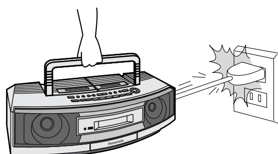
・閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
・特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

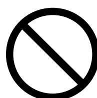
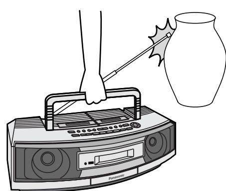
・CD挿入部が開いたとき、ものに当たって倒れたりして、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

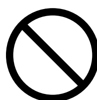
・接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
・また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

・アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

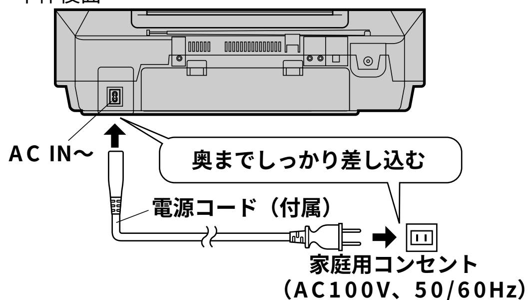


・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電源の準備

家庭用コンセント、または別売りの単1形乾電池（8個）で使えます。

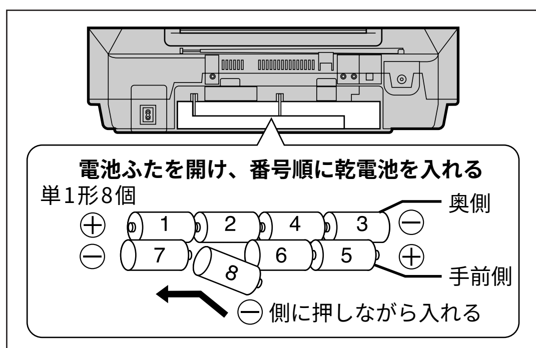
家庭用コンセントで使う



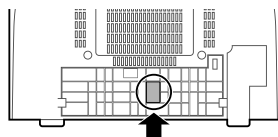
長時間使用しないときは
節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、メモリー用乾電池（⇨右記参照）を入れていないと、再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
（電源スイッチを切った状態でも、約1.0Wの電力を消費しています。）

乾電池（別売り）で使う

電源コードを本体から抜くと、乾電池電源に切り換わります。



■乾電池を取り出すときは
本体底面の穴に指を入れて押し出す。



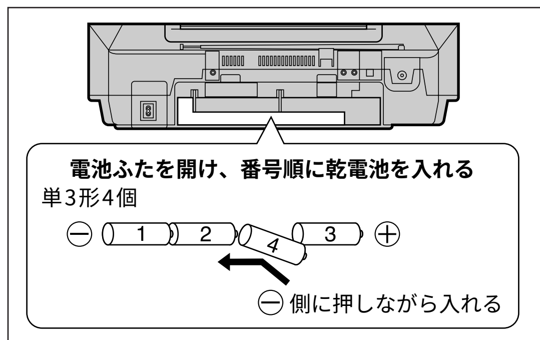
■乾電池の交換時期
表示パネルで“ ”が点滅したら、電池が減ってきていることを表します。

■乾電池でお使いのときは
リモコンで電源を入れることはできません。

メモリー用乾電池（別売り）

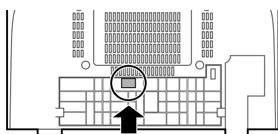
時計やタイマー、CDの予約内容、記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、お使いになることをおすすめします。
メモリー用乾電池を使用していないと、以下のときメモリーが消えます。

- 停電したとき
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- 乾電池で使用中に、コンセントに接続していない電源コードを本体に差し込んだとき



■乾電池を取り出すときは

本体底面の穴に指を入れて押し出す。



■乾電池の交換

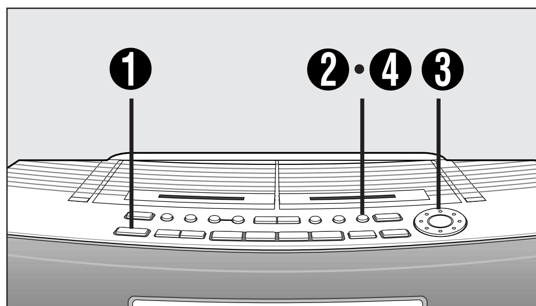
- 乾電池の寿命は約1年です。
- メモリーが消えないよう、電源コードをコンセントと本体に接続してから、乾電池を交換してください。

お願い

メモリー用乾電池の消耗を防ぐために、電源コードは電源を切ってから抜いてください。

時計を合わせる

24時間表示です。
例：13時30分に合わせる



❶ 電源 押して　**電源を入れる**

❷ クロック/タイマー 押して **“CLOCK” を選ぶ**

CLOCK 0:00

押すたびに “CLOCK” → ON "◷PLAY" → ◷PLAY OFF" → 元の表示 → “OFF◷REC” → “ON"◷REC” → “CLOCK” …

❸ 10秒以内に 時刻/プリセット選局/CD選曲 回して **時刻を合わせる**

CLOCK 13:30

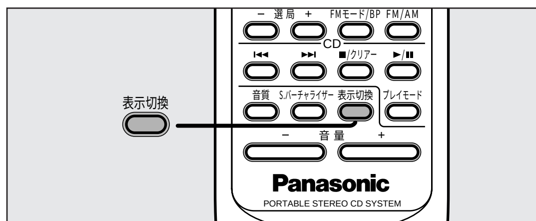
時間、分を同時に合わせます。

❹ クロック/タイマー **押す**

CLOCK 13:30

時計がスタートし、元の表示に戻ります。
時報などに合わせて押してください。

■時計を表示させるには リモコンのみ



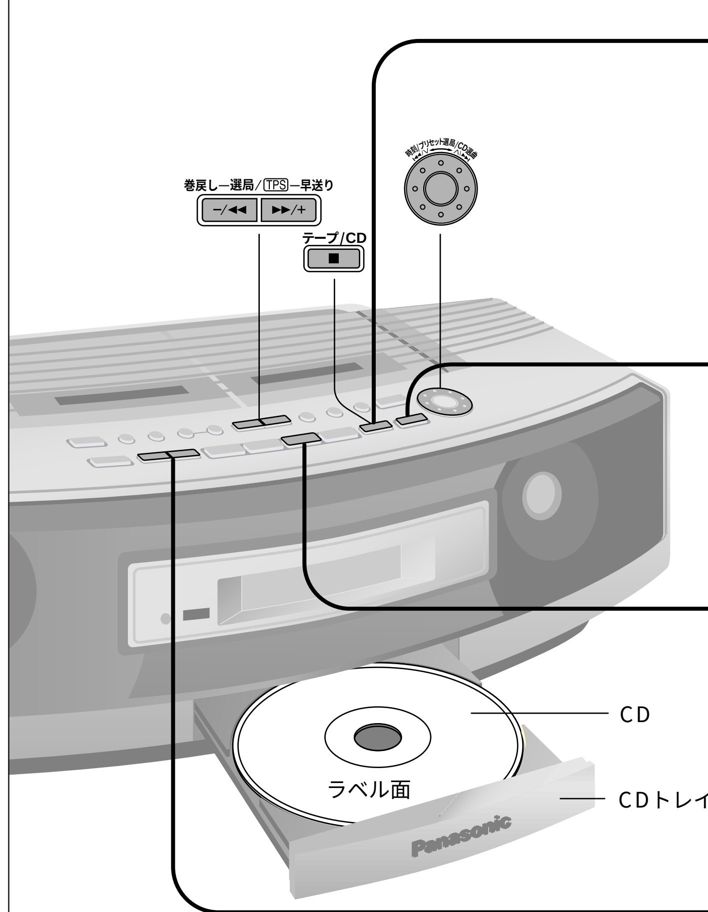
電源「入」時に
表示切換 **押して 時刻表示を選ぶ**
（例：CDを聞いているとき）





CD を聞く

準備： 〔電源〕 押す（乾電池電源のとき）



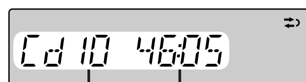
❶ テープ/CD〔■〕押して
CDに切り換える

（家庭用コンセント使用時、電源が入ります）
押すたびに切り換わります。
TAPE ↔ Cd



CD が入っていないことを表しています

❷ CD開/閉〔▲〕押して CDトレイを開き、
CDを入れてもう一度押す



CD の総曲数　総演奏時間

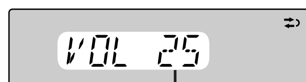
❸ ▶/II〔CD〕押して
演奏を始める

最終曲まで演奏して自動的に停止します。



演奏中の曲番　演奏経過時間

❹ 音量〔− ＋〕押して
音量を調整する



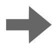
0（最小）　50（最大）

演奏を止めるには：
テープ/CD〔■〕**押す**

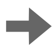
ワンタッチプレイ（家庭用コンセント使用時のみ）
すでにCD が入っているときは、手順❸から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。

■一時停止するには ➡  演奏中に**押す**
● 演奏を再開するには：もう一度押す。

■曲を前後にとび越すには（スキップ） ➡  戻る　進む　**回す**



■早送り・早戻しするには（サーチ） ➡  演奏中、または一時停止中に**押し続ける**





お知らせ
● 他の機器（ラジオ・テレビなど）に雑音が入ったら、できるだけ本機を他の機器から離してご使用ください。

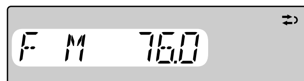


ラジオを聞く

準備： 電源 押す（乾電池電源のとき）

テレビ音声（1～3チャンネルのみ）は、
FMで受信します。

❶ FM/AM ラジオ **押して**
FMまたはAMを選ぶ
（家庭用コンセント使用時、電源が入ります）
押すたびに　AM↔FM



❷ 巻戻し―選局/TPS―早送り −/◀◀ ▶▶/＋ **押して**
放送局を選ぶ

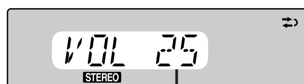


ステレオ放送を受信すると点灯　周波数

● **TV音声1～3chの位置**

90.0MHz―**TV1ch―TV2ch―TV3ch**

❸ 音量 − ＋ **押して**
音量を調整する



0（最小）　50（最大）

■自動選局するには（オートチューニング）

巻戻し―選局/TPS―早送り −/◀◀ ▶▶/＋ 押し続け、周波数が動き始めたら指を離す。
（最初に受信した放送局で周波数が自動停止します。）

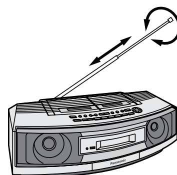
自動選局を止めるには

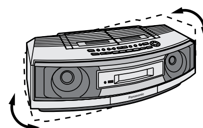
もう一度  押す。

■受信状態がよくないときは

FM：
ホイップアンテナの長さと向きを調節する

AM：
本体の向きを調整する





お知らせ

- AMとテレビの音声はモノラルになります。
- オートチューニング時、周波数に妨害電波があると放送局を受信せずに周波数が停止することがあります。
  その場合は、 巻戻し―選局/TPS―早送り −/◀◀ ▶▶/＋ をポンポンと押して、選局してください。
- AM放送受信中にテープ操作をすると、一時的に音声が途切れます。
- 乗り物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

本機のTV受信回路について

FM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルにFMが混信することがあります。



テープを聞く

デッキ1、2のどちらでも演奏できます。
(ここではデッキ 1で説明します)

準備：[電源] 押す(乾電池電源のとき)

正しく再生できるテープ

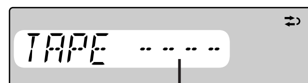
NORMAL POSITION(ノーマル ポジション) ／TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION(ハイ ポジション) ／TYPE Ⅱ	○
METAL POSITON(メタル ポジション) ／TYPE Ⅳ	○

テープの種類は自動的に判別します。

❶ [テープ/CD ■] 押して
テープに切り換える

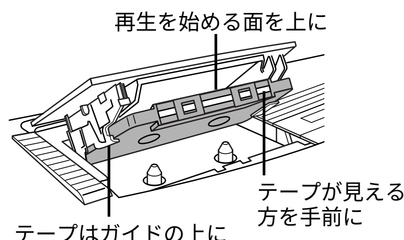
(家庭用コンセント使用時、電源が入ります)

押すたびに TAPE↔Cd



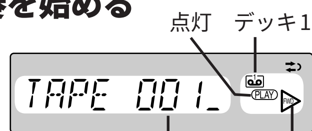
テープが入っていないことを表します。

❷ [デッキ1 ▲] 押して
テープを入れる



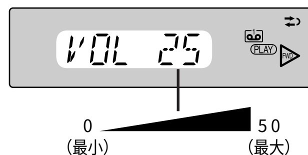
- カセットふたは手で閉めます。
  (ふたを閉めると、走行方向は自動的に"FWD ▷"になります。)

❸ [◀▶ テープ] 押して
演奏を始める



FWD ▷：上の面を再生
REV ◁：下の面を再生

❹ [音量 − ＋] 押して
音量を調整する



演奏を止めるには：
[テープ/CD ■] 押す

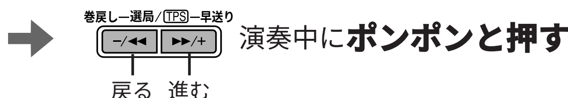
ワンタッチプレイ(家庭用コンセント使用時のみ)
すでにテープが入っているときは、手順❸から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。

■反対面を聞くには ➡ [◀▶ テープ] 演奏中に**押す** 押すたびに FWD ▷ ↔ REV ◁

■早送り・巻戻しをするには ➡ [巻戻し—選局/TPS—早送り −/◀◀ ▶▶/+] 停止中に**押す**

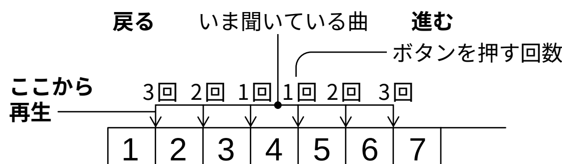
- **途中で再生に戻るには：[◀▶ テープ] 押す**

■ 曲の頭出しをするには
（TPS：Tape Program Sensor）



演奏中に**ポンポンと押す**

押した数だけ曲をとび越し曲の初めから演奏します。
（前後9曲まで）



●**途中で再生に戻るには：** テープ **押す。**

お知らせ

●TPS機能は曲間の無音部を検出して働くため、
次のような場合に正しく動作しないことがあります。
・曲の間の無音部が4秒未満のとき
・曲間に雑音があるとき
・曲中に無音に近い部分があるとき

■ 操作するデッキを切り換えるには

デッキ1/2 **押す**

操作できるデッキの表示が点灯



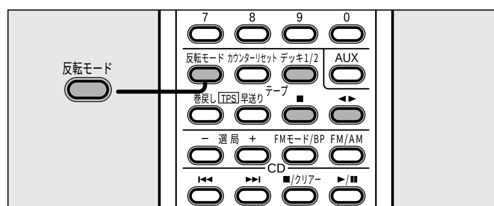
お知らせ

●あとからテープを入れたほうのデッキに自動的に切り換わります。
●テープを操作中にもう一方のデッキを操作すると、先に操作していたデッキは止まります。

■ 反転モードを選ぶには
リモコンのみ

反転モード **押す**





押すたびに

→ ⇄ ：上の面→下の面を再生後、自動停止
↓
(⇄) ： ■ を押すまで両面を繰り返し再生
↓
⇄ ：片面だけ再生して自動停止

■ 両方のデッキに入れた2本のテープを続けて聞くには

リモコンの 反転モード **押して (⇄) 選び、**
テープ **押して演奏を始める**

あとからテープを入れたほうのデッキから演奏が始まり、
テープ/CD ■ 押すまで連続演奏します。

演奏を始める前に、 デッキ1/2 押して先に演奏するデッキを選ぶこともできます。



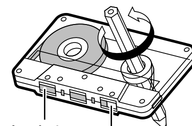
CD を録音する（デッキ 2のみ）

正しく録音できるテープ

NORMAL POSITION（ノーマル ポジション）／TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION（ハイ ポジション）／TYPE Ⅱ	○
METAL POSITON（メタル ポジション）／TYPE Ⅳ	×

テープの種類は自動的に判別します。
- 本機では、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音・消去されません。

準備：
- **CDを入れる。**
- **テープのはじめから録音するとき**
  録音できないリーダーテープ（色の違う部分）を送り出して、録音がすぐ開始できるようにしておきます。
- **テープの途中から録音するとき**
  テープを聞いて録音を始める位置を頭出ししておきます。



1 デッキ2 ▲ **押して**
テープを入れる

録音を始める面を上に
テープが見える方を手前に
テープはガイドの上に
- カセットふたは手で閉めます。
（ふたを閉めると、走行方向は自動的に“ ▷ ”になります。）

2 リモコンのみ
反転モード **押して**
反転モードを選ぶ
⇄) または ⇄ のどちらかを選んでください

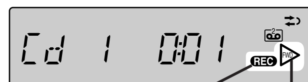
⇄)：上の面→下の面を録音後、自動停止
⇄：片面だけ録音して自動停止

3 テープ/CD ■ **押して**
CDに切り換える
押すたびに TAPE ↔ Cd

Cd 10 46:05

4 ●/Ⅱ **押して**
録音を始める

CDの演奏と録音が同時に始まります。



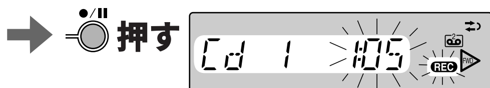
点灯　　走行方向
▷：上の面を再生
◁：下の面を再生

録音中、デッキ1は操作できません。

録音を止めるには：
テープ/CD ■ **押す**

■ 録音を一時停止するには

➡ ●/II 押す



●録音を再開するには、もう一度押す

■ 録音が終わると

CDの演奏が終わると、テープの録音も停止します。

■ テープの続きに別のCDを録音するには

① CD開/閉 ▲ 押してCDを入れ換える

② ●/II 押す
その位置から続けて録音できます。

■ 好みの曲を録音するには

左記手順を行う前に、好みの曲を予約する
(⇨ 15ページ「プログラムプレイ」手順❶～❹)

■ 不要な曲をとばして録音するには

① 録音中に●/II 押して録音を一時停止する
(CDも一時停止します。)

② 時刻/プリセット選局/CD選曲 回して、録音する曲番を表示させる

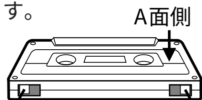
③ ●/II 押して、ふたたび録音を始める

録音時の音量・音質・音場について

録音レベルは自動的に設定されます。
録音中に音量や音質・音場 (⇨ 20ページ) を変えても、録音されるテープには影響しません。

お知らせ

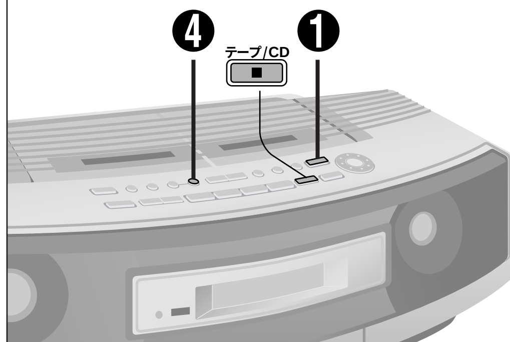
● ツメの折れたテープでは録音できません (⇨ 25ページ)。" E "が表示されます。



● 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。
● 録音中に、本機とテレビを近付けると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。



ラジオを録音する
(デッキ 2のみ)



❶ デッキ2 ▲ 押して
テープを入れる (⇨ 左記手順❶)
(電源が入ります)

❷ リモコンのみ
反転モード 押して **反転モードを選ぶ**



(⇨ 左記手順❷)

❸ **録音したい放送局を選ぶ**
(⇨ 9、17ページ)

❹ ●/II 押して
録音を始める (⇨ 左記手順❹)

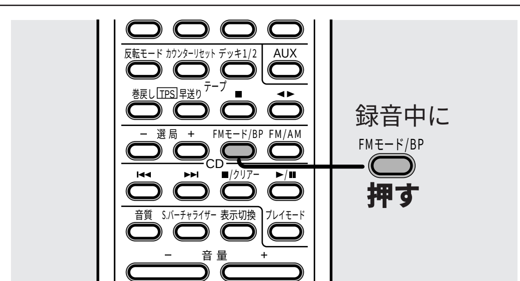
■ 録音を止めるには ➡ テープ/CD ■ 押す

■ 録音を一時停止するには ➡ ●/II 押す

●録音を再開するには、もう一度押す

AM放送録音時に雑音が多いときは (ビートプルーフ機能)

リモコンのみ

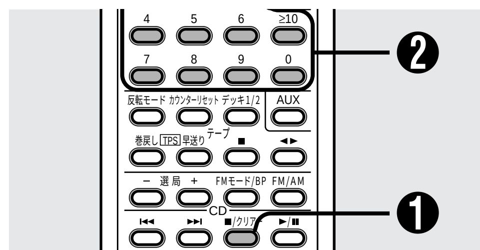


押すたびに " bP1 " ↔ " bP2 "
雑音の少ない方にしてください。

CD の聞きかた

好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

リモコンのみ



❶ ■/クリアー 押して　CDに切り換える

- もし“ PGM ”が点灯していたら、もう一度 ■/クリアー 押して消す。

❷ 1〜0、≥10 押して　曲番を選ぶ

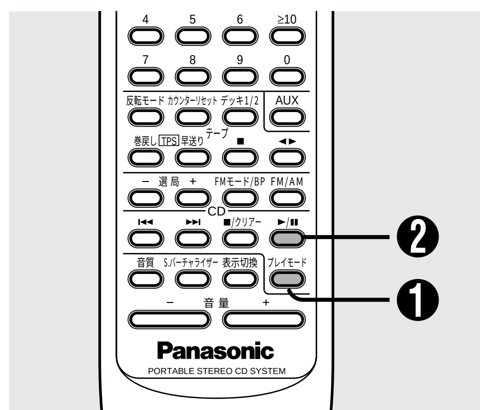
選んだ曲から最後の曲まで演奏した後、停止します。

■10以上の曲番を選ぶには

例）曲番20：≥10 → 2 → 0
曲番35：≥10 → 3 → 5

繰り返し聞く（リピートプレイ）

リモコンのみ



❶ プレイモード 押して リピートを選ぶ

Cd 3 3:25

押すたびに

1-[⟲]：1曲を繰り返すとき（1曲リピート）
↓
[⟲]：全曲を繰り返すとき（全曲リピート）
↓
RANDOM
↓
消灯（解除）

❷ 演奏前のときは ►/II 押して演奏を始める

“ 1-[⟲] ”のときは演奏している曲を繰り返します。

■好みの数曲を繰り返すには

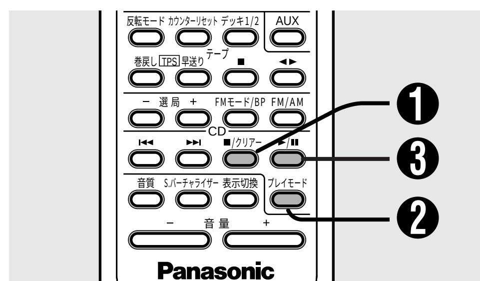
① プログラムプレイ（⇨右ページ）で演奏を始める。
② プレイモード を押して“ [⟲] ”を選ぶ。

■解除するには

プレイモード ポンポンと押して、“ 1-[⟲] ”または“ [⟲] ”の表示を消す。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

リモコンのみ



❶ ■/クリアー 押して　CDに切り換える

❷ プレイモード 押して“ RANDOM ”を選ぶ

押すたびに → 1-[⟲] → [⟲] → RANDOM → 消灯（解除）

❸ ►/II 押す

各曲を順不同に演奏した後、停止します。

■解除するには

プレイモード 押して、“ RANDOM ”表示を消す。

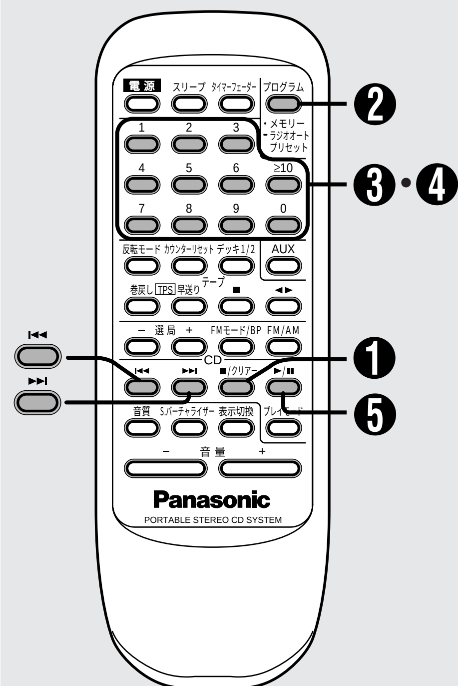
ランダムプレイ中に解除すると、演奏中の曲からCDの最後の曲までを順に演奏した後、停止します。

ランダムプレイ中は

- 好みの曲だけを選んでランダム演奏することはできません。
- ランダム演奏中は、リモコンの数字ボタンを押して曲番を選ぶことはできません。（“ E ”が表示されます。）
- スキップで前の曲には戻りません。
- サーチは、演奏中の曲内のみです。
- プログラムプレイと同時にはできません。

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

リモコンのみ



最大36曲まで予約できます。

1. ■/クリアー 押して **CDに切り換える**
   もし、“RANDOM”が点灯していたら、プレイモード 押して消す。
   表示：Cd 10 46:05（CDの曲数　総演奏時間）

2. プログラム 押して “PGM”を点灯させる
   表示：Cd 10 46:05（点灯）

3. 1〜0、≧10 押して **曲番を予約する**
   表示：Cd 3 --01（予約曲　予約順）

4. 手順3をくり返して、**続けて予約する**（最大36曲まで）
   表示：Cd 8 40:25（予約した曲の合計演奏時間）

5. ►/II 押す
   予約順に演奏し、自動的に停止します

■プログラムの内容を取り消すには

■/クリアー 押す

“CLEAR”を表示し、予約曲がすべて取り消され、プログラムプレイも解除されます。

■“FULL”と表示されたら

すでに36曲予約されています。これ以上予約できません。

プログラムプレイ中は

- 演奏を止めたり、電源を切ったときでも、予約内容は記憶されています。
  （演奏を止めたときなどに出る“Cd-P”の表示は、予約内容が記憶されていることを表します。）
- サーチは、演奏中の曲内のみです。

■予約内容を確認するには

停止中に

⏮ または ⏭ 押す

押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

■“-- --:-- --”と表示されたら

予約曲の合計演奏時間が100分以上になりました。ただし、予約や演奏はできます。

お知らせ

リピートプレイ、ランダムプレイ、プログラムプレイは、以下のようなときも解除されます。

- メモリー用乾電池を入れないで、電源コードを抜いたとき（⇨ 7ページ）
- CD開/閉 押してCDトレイを開いたとき

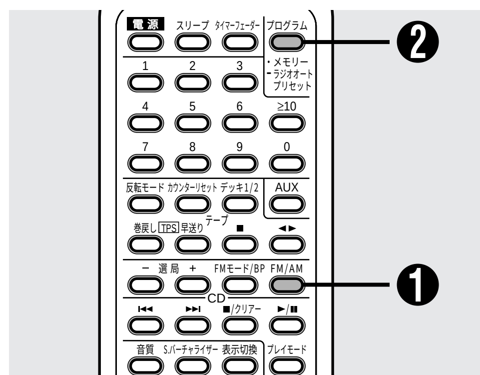
ラジオの聞きかた

放送局を記憶させる

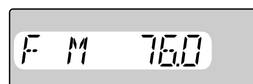
リモコンのみ

放送局を記憶させておくと、次から簡単に選局できます。
- FM、AMを別々に記憶させてください。（各12局まで）
- FMの放送局を記憶させるときは、アンテナを伸ばしておいてください。

自動で記憶させる（オートメモリー）



❶ FM/AM 押して
FMまたはAMを選ぶ
押すたびに　AM↔FM



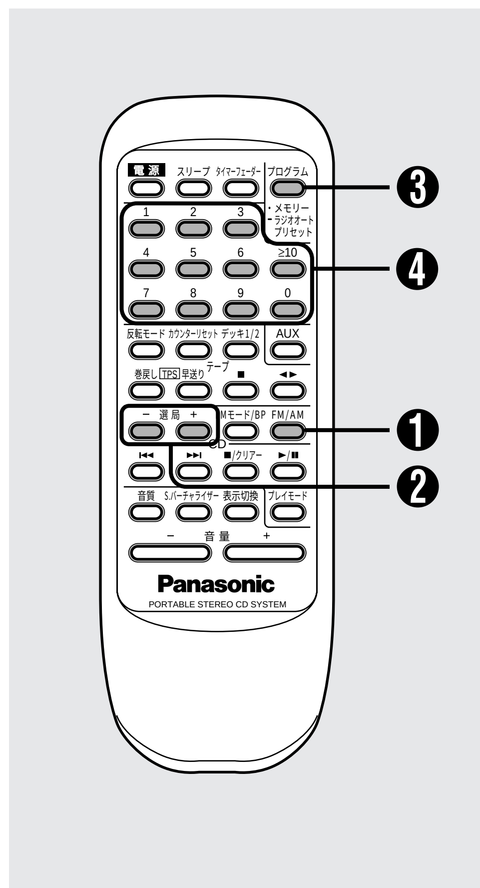
❷ **“AUTO”を表示するまで**
プログラム **押し続ける**



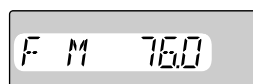
周波数が動き始め、受信した放送局を順番に記憶していきます。
記憶が終わると、プリセットチャンネルの1番に記憶した放送局を受信します。

- オートメモリーする前にプリセットチャンネルに記憶していたときは、オートメモリーで新たに記憶し直すと、前の記憶は消えます。
- 放送局が正しく記憶できないときは、手動で1局ずつ記憶させてください。（下記参照）

手動で1局ずつ記憶させる（マニュアルメモリー）

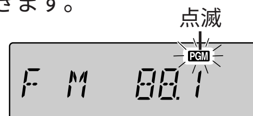


❶ FM/AM 押して
FMまたはAMを選ぶ
押すたびに　AM↔FM

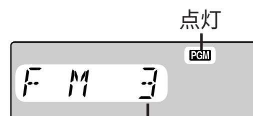


❷ − 選局 + 押して **放送局を選ぶ**
- オートチューニング（⇨ 9ページ）を使って放送局を自動で選ぶこともできます。

❸ プログラム **ポンと 押す**



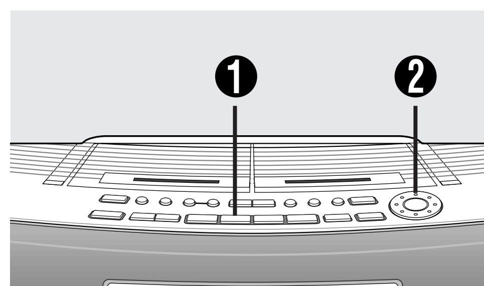
❹ “PGM”点滅中に
1 2 3 4 5 6 ≥10 7 8 9 0 **押して**

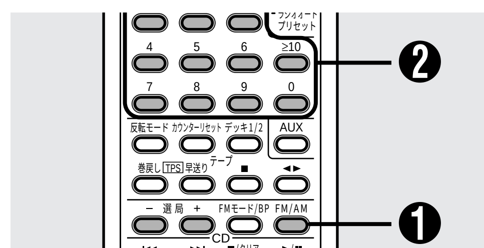


プリセットチャンネル（1〜12）を選ぶ
放送局が記憶されます。
例）プリセット番号12：≥10 → 1 → 2
途中で表示が元に戻ったら
手順❸からやり直してください。

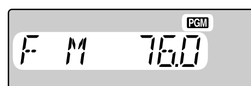
❺ **手順❷〜❹をくり返し、各プリセットチャンネルに好みの放送局を記憶させる**

記憶させた放送局を聞く（プリセット選曲）

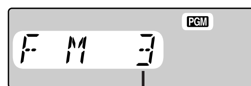




❶ FM/AM ラジオ 押して
FMまたはAMを選ぶ
押すたびに　AM⇔FM



❷ 時刻/プリセット選局/CD選曲 回して
プリセットチャンネルを選ぶ



プリセットチャンネル

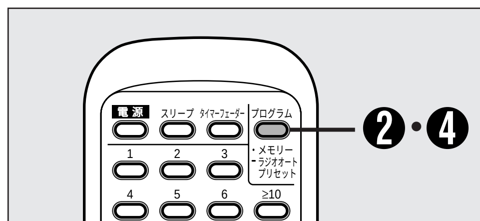
■**リモコンでプリセットチャンネルを選ぶには**

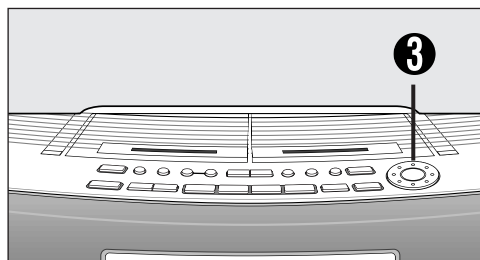
❶ FM/AM 押して **FMまたはAMを選ぶ**

❷ 1 2 3 4 5 6 ≥10 7 8 9 0 **押す**

- プリセットチャンネル「10」を選ぶには
  ≥10 → 1 → 0

本体選局時に不要なプリセットチャンネルをとばすには

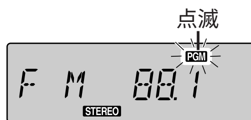




❶ **不要なチャンネルを表示させる**
（上記手順 ❶、❷）

❷ プログラム **ポンと 押す**

点滅



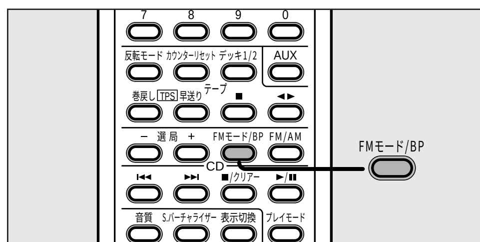
❸ **10秒以内に**
時刻/プリセット選局/CD選曲 **回して“ -- -- ”を表示させる**

1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6⇔7
-- --⇔12⇔11⇔10⇔9⇔8

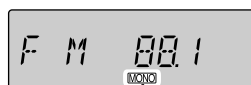
❹ プログラム **ポンと 押す**
次から選局時には不要なチャンネルをとばして表示します。

お知らせ リモコンの数字ボタンでは、本体でとばしたチャンネルも選局できます。

FMステレオ放送で雑音が多いときは(ステレオ／モノラル切換)　リモコンのみ



FMモード/BP **押す**



もう一度押すと消灯

- “ MONO ”を点灯させるとモノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は“ MONO ”を消灯させておいてください。（ステレオ放送はステレオ音声で、モノラル放送はモノラル音声で聞くことができます。）

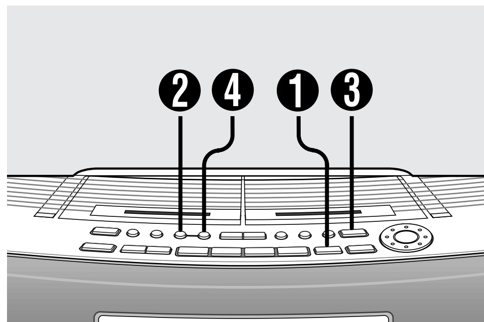
お知らせ FMをモノラル受信モードで記憶させることはできません。



CD の録音のしかた（デッキ 2 のみ）

CDの全曲を自動で録音する（CDまる録り…オートCD録音）

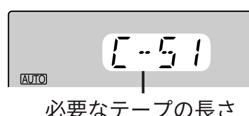
準備：
- **CDを入れる**（⇨ 8ページ）
- **テープを巻き戻しておく必要はありません。**
  録音はいつも上の面の最初から始まります。



- 曲の途中で上の面が終わると、途切れた曲は下の面の最初に録音し直されます。

❶ テープ/CD ■ **押して　CDに切り換える**
押すたびに　TAPE ↔ CD

❷ CD録音モード **押して " AUTO "を表示させる**



押すたびに **AUTO** → 1-REC → OFF

❸ 表示された時間（分）より長いテープを入れる
（⇨ 12ページ）

C-51
AUTO
必要なテープの長さ

❹ ●/II **押して　録音を始める**
自動的にテープを巻戻し、約10秒間無音で録音したあと、CDの録音が始まります。
- 反転モードは " ⇄ "になります。
- 全曲の録音が終わると、自動的に停止します。

■好みの曲を録音するには
① 好みの曲を予約する
（⇨ 15ページ「プログラムプレイ」手順 ❶〜❹）
② 上記手順 ❷〜❹ を行う

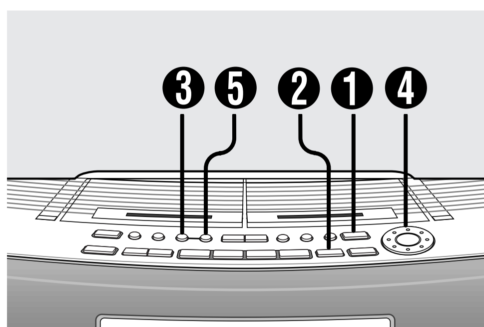
■録音を止めるには
テープ/CD ■ 押す（CDも止まります。）

■" C -- -- -- -- "と表示されたら
録音に必要なテープの長さが100分以上になりました。録音することはできますが、テープの長さが不足すると全曲録音できない場合があります。

お知らせ
ランダムプレイ（⇨ 14ページ）のオートCD録音はできません。

CDの好みの1曲を録音する（CD1曲ねらい録り）

準備：
- **CDを入れる**（⇨ 8ページ）
- **テープは録音を始める位置を頭出ししておきます。**



- 途中で上の面が終わって曲が途切れたときは、自動的に下の面の最初に録音し直されます。（下の面から録音を始めたときは、その面の終わりで停止します。）

❶ テープを入れる（⇨ 12ページ）
- ふたを閉めると、走行方向は自動的に" ▷ "になります。

❷ テープ/CD ■ **押して　CDに切り換える**
押すたびに　TAPE ↔ CD

❸ CD録音モード **押して " 1-REC "を表示させる**
1-REC
押すたびに AUTO → **1-REC** → OFF

❹ 時刻/プリセット選局/CD選曲 **回して　録音したい曲番を選ぶ**
曲番1を選ぶときは、この手順は不要です。

❺ ●/II **押して　録音を始める**
CDの演奏と録音が同時に始まります。
- 反転モードは " ⇄ "になります。
- 選んだ1曲の録音が終わると、自動的に停止します。

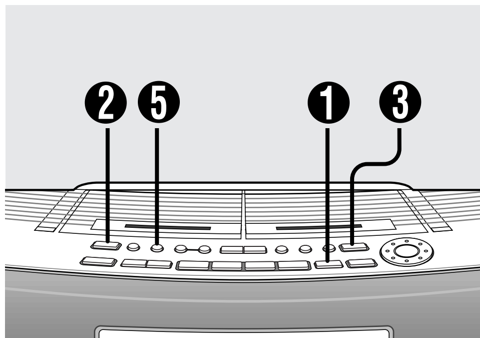
■続けて別のCDを録音するには
① CD開/閉 ▲ 押してCDを入れ換える
② 上記手順❹〜❺を行う

■録音を止めるには
テープ/CD ■ 押す（CDも止まります。）

■演奏中のCDの曲を録音するには（おっかけ録音）
① CD録音モード 押して " 1-REC " を選ぶ
② ●/II 押す
その曲を最初から録音し、曲が終わると自動的に停止します。

テープからテープへ録音する（テープダビング）

準備：
- **テープの始めから録音するとき**
  リーダーテープを巻き取る。
- **テープの途中から録音するとき**
  テープは録音を始める位置を頭出ししておきます。



❶ テープ/CD ■ **押して　テープに切り換える**

❷ デッキ1 ▲ **押して　再生用テープを入れる**

❸ デッキ2 ▲ **押して　録音用テープを入れる**
デッキ1、2には違う種類のテープが使えます。

❹ リモコンのみ
反転モード **押して　反転モードを選ぶ**
⇄ または ⇄ のどちらかを選んでください

⇄：上の面→下の面を録音後、自動停止
⇄：片面だけ録音して自動停止

❺ テープ編集 **押して**
録音を始める

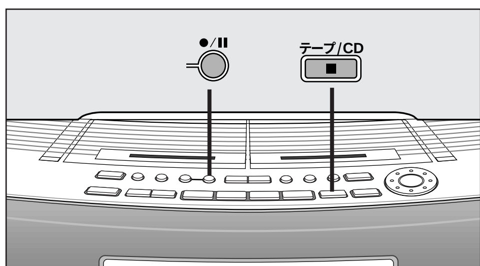
デッキ2の録音方向
TAPE 001_
REC
点灯（一時停止中は点滅）

■録音を止めるには
テープ/CD ■ 押す

■録音を一時停止するには
●/II 押す
デッキ1、2ともに一時停止します。

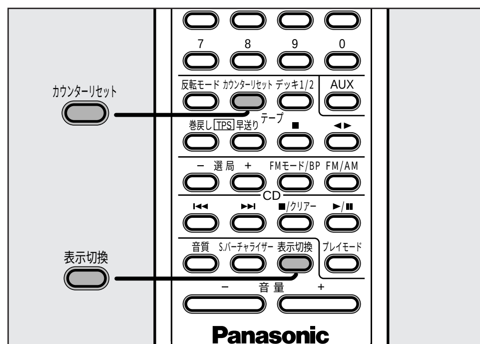
●再び録音するには
テープ編集 押す

録音を消して無音テープを作るには



① 消したい面を上にしてテープを入れる
② テープ/CD ■ 押して“ TAPE ”を表示させる
③ ●/II 押す

テープカウンターについて



リモコンのみ

テープ位置の目安として使います。

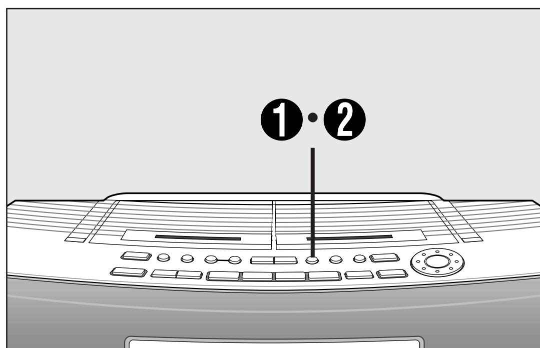
■テープカウンターを表示させるには
表示切換 押して テープカウンターを選ぶ
（例：テープを聞いているとき）

テープカウンター
TAPE 164-

録音のときはデッキ2のテープカウンターを表示します。

■テープカウンターを“ 000 ”にするには
カウンターリセット 押す

音質を切り換える



❶ 音質 押す
（現在の音質が表示されます。）

❷ 2秒以内に
音質 押して　音質を選ぶ
押すたびに、次の順序で切り換わります。



HEAVY：
ロックなど、パンチを効かせるとき

CLEAR：
ジャズなど、高音部を鮮明にするとき

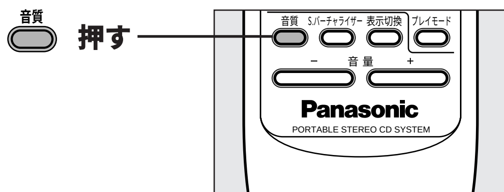
SOFT：
BGMとして聞くとき

VOCAL：
ボーカルにつやを出したいとき

“**EQ-OFF**”(解除)：音質効果を使わないとき

■リモコンで音質を選ぶには

音質 押す



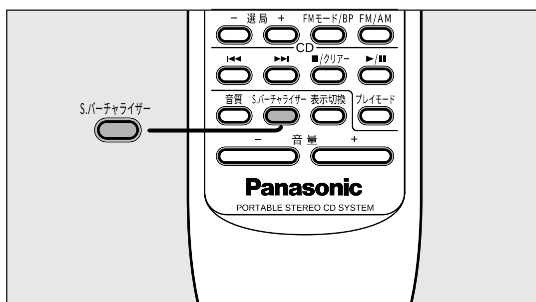
押すたびに上記の順序で切り換わります。

お知らせ

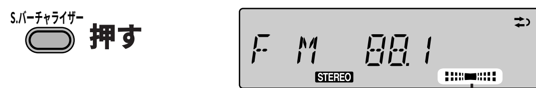
録音するときに音質を変えても、録音されるテープには影響しません。

立体的な音場効果を使う

リモコンのみ　ステレオ音声のとき使用できます。



S.バーチャライザー 押す

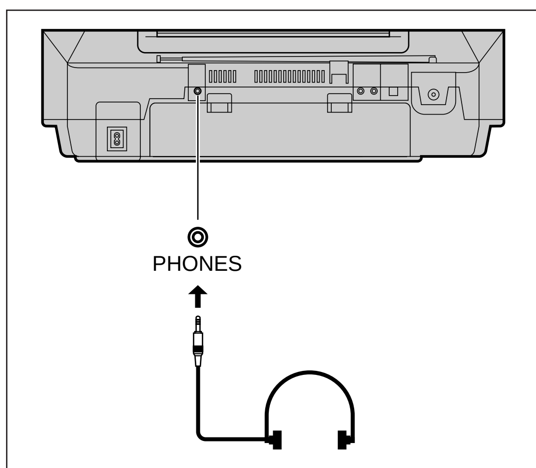


●解除するにはもう一度押す　点灯

お知らせ

●録音するときに音場効果を変えても、録音されるテープには影響しません。
●効果は、音楽によって異なります。

ヘッドホン(別売り)で聞く



●接続するときは、音量を下げてください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

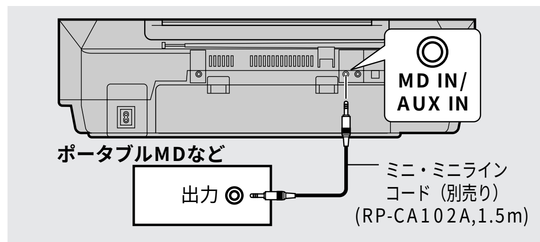
プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
推奨品（すべて別売り）：
RP-HT400、RP-HT242（密閉形）
RP-HT29（小形軽量オープンエアー型）

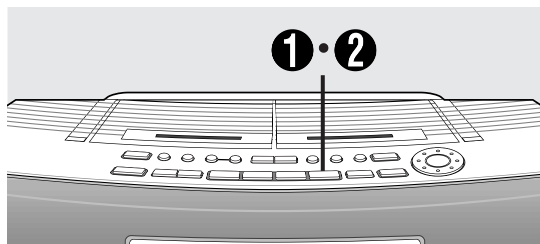


他の機器と組み合わせて使う

本機で聞く・録音する

他の機器（MDなど）を再生する





準備： [電源] 押す（乾電池電源のとき）

❶ **[MD/AUX] ポンと押す**

AUX

❷ **[MD/AUX] 表示が切り換わるまで押し続け、レベルを選ぶ**

AUX-H：
ポータブルMDなど、出力レベルの低い機器を使っているとき

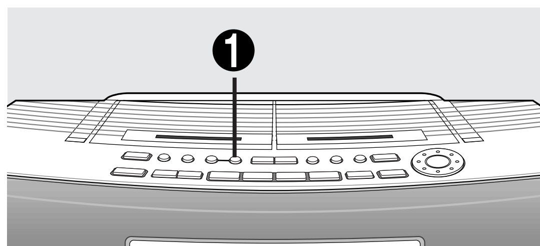
AUX-H

AUX：
上記以外の機器を使っているとき

AUX

❸ **MDなどの演奏を始める**

他の機器（MDなど）から本機へ録音する



準備：デッキ2へ テープを入れ反転モードを選ぶ
（⇨ 12ページ）

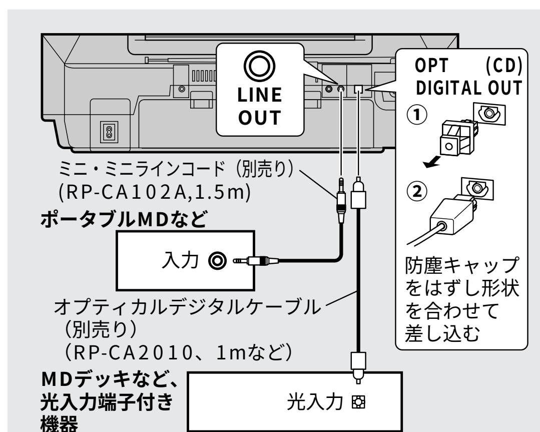
❶ **上記手順❶、❷のあと**
● 押す

❷ **MDなどの演奏を始める**

お知らせ

- リモコンの [AUX] でレベルを切り換えることはできません。本体の [MD/AUX] で切り換えてください。
- 入出力コードを両方接続しているときは、本機と他の機器の両方を外部入力（本機：[MD/AUX]、ポータブルMD：[録音]）状態にすると異常音がでることがあります。他の機器を外部入力以外に切り換えてください。

本機から他の機器（MDなど）へ録音する



[OPT DIGITAL OUT (CD)] の出力は「CD」のときのみです。

準備： [電源] 押す（乾電池電源のとき）
本機の「CD」、「テープ」または「ラジオ」を選ぶ

❶ **他の機器の録音を始める**

❷ **本機の演奏を始める**

お知らせ

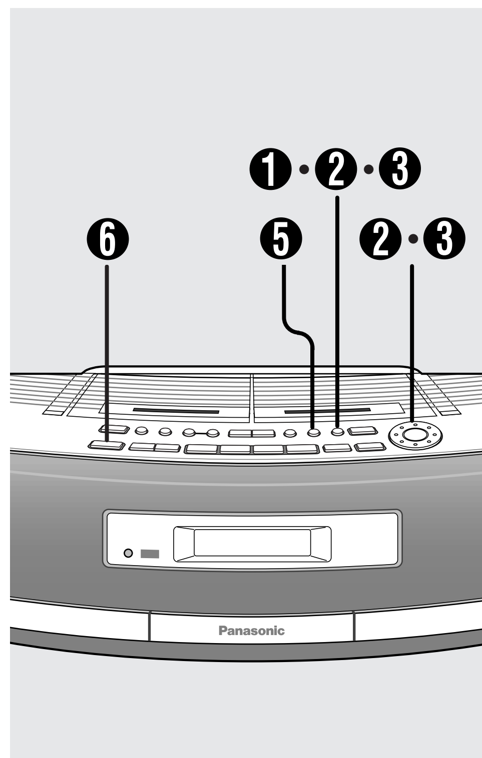
[OPT DIGITAL OUT (CD)] 端子にほこりが入ると、誤動作の原因になります。端子を使わないときは、防塵キャップを付けておいてください。

おめざめタイマーを使う

好みの時刻に電源が入り、好みのソース（CDなど）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
一度時刻を設定しておくと、ソース設定だけを変えることもできます。

● 乾電池の消耗によりタイマー動作しないことがあります。家庭用コンセントのご使用をおすすめします。

表示例：
7:30〜8:30まで好みのソースを演奏する場合



準備：時計をあわせる（⇨ 7ページ）

時刻設定（24時間表示）する

❶ “ ON ”と“ ◴ PLAY ”が点滅するまで クロック/タイマー **ポンポンと押す**



押すたびに“ CLOCK ”→“ **ON** ”◴**PLAY** ”→“ ◴PLAY OFF ”
↑ 元の表示 ←“ OFF◴ REC ”←“ ON ”◴REC ”←

❷ **10秒以内に**

時刻/プリセット選局/CD選曲 **回して 開始時刻を選び**

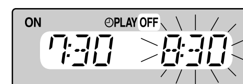


↓

クロック/タイマー **押す**



❸ 時刻/プリセット選局/CD選曲 **回して 終了時刻を選び**



↓

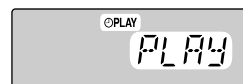
クロック/タイマー **押す**

お知らせ
“ E ”が表示されたら
タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。

ソース・音量・タイマーを実行設定する

❹ **ソースと音量を設定する**
①CDかテープ、ラジオまたは外部機器MDなどを演奏し、
②音量を調整する
外部機器は同時刻にタイマー動作するように設定します。

❺ ◴再生/録音 **押して “ ◴ PLAY ”を表示させる**



押すたびに“ ◴**PLAY** ”→“◴ REC ”→ 表示なし（解除）

● 留守録タイマーが設定されていないときは、“ ◴ REC ”は表示されません。
● 時計を合わせていないと、“ E ”と表示されます。

❻ 電源 **押して　電源を切る**
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

予約した時刻になると
演奏が始まります。（“ ◴PLAY ”が点滅）
● 音量は手順❹で設定した大きさになります。
● タイマーを動作させなくしない限り、毎日同時刻に動作します。

■設定内容を確認するには

電源「切」のときに クロック/タイマー 押す。
開始時刻・終了時刻→ソース（留守録タイマーのときは放送局設定）→音量の順に自動的に表示し（約2秒ずつ）、そのあと元の表示に戻ります。

■設定内容を変えるには

時刻を変えるとき
電源を入れ、上記の手順❶〜❸、❻を行う。

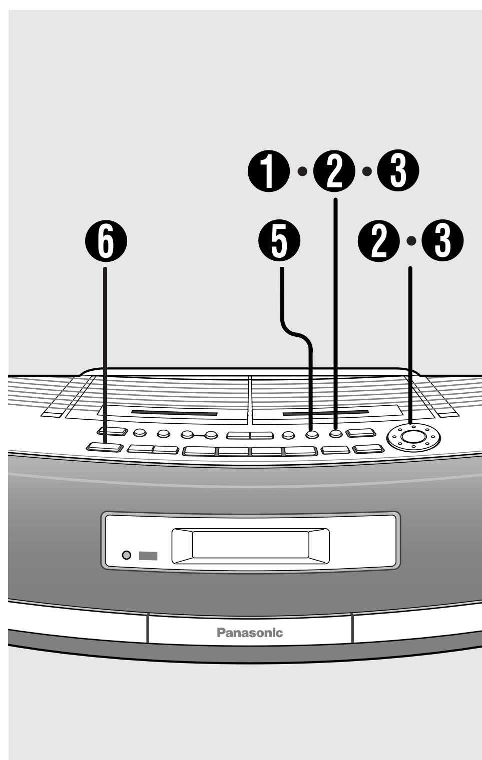
ソースを変えるとき
電源を入れ、◴再生/録音 押して“ ◴ PLAY ”または“ ◴ REC ”を消灯させ、そのあと上記の手順❹〜❻を行う。

留守録タイマーを使う

好みの時刻に電源が入り、好みの放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

- 乾電池の消耗によりタイマー動作しないことがあります。家庭用コンセントのご使用をおすすめします。

表示例：
13：30～14：30までの放送を録音する場合



準備：●時計をあわせる（⇨ 7ページ）
●テープを入れ、反転モードを選ぶ（⇨ 12ページ）

時刻設定（24時間表示）する

❶ “ ON ”と“ ◴ REC ”が点滅するまで
クロック/タイマー **ポンポンと押す**



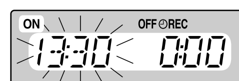
開始時刻　終了時刻

押すたびに “ CLOCK ” → “ ON ” “ ◴PLAY ” → “ ◴PLAY OFF ”
↑ 元の表示 ← “ OFF◴ REC ” ← “ **ON** ” “ ◴**REC** ” ←

❷ 10秒以内に



回して
開始時刻を選び



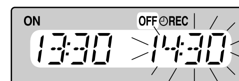


クロック/タイマー **押す**

❸



回して
終了時刻を選び



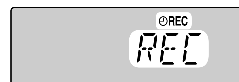
クロック/タイマー **押す**

お知らせ
“ E ”が表示されたら
タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。

放送局・タイマーを実行設定する

❹ 放送局を受信し、音量を調整する
必要に応じてステレオ／モノラルを切り換えてください。（⇨ 17ページ）

❺ ◴再生/録音 **押して**
“ ◴ REC ”を表示させる



押すたびに “ ◴PLAY ” → “ ◴**REC** ” → 表示なし（解除）
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿|

- おめざめタイマーが設定されていないときは、“ ◴ PLAY ”は表示されません。
- 時計を合わせていないと、“ E ”と表示されます。

❻ 電源 **押して　電源を切る**
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

予約した時刻の30秒前になると
録音が始まります。（“ ◴ REC ”が点滅）

- 音量は手順❹で設定した大きさになります。
- タイマーを動作させなくしない限り、毎日同時刻に動作します。

■タイマーを動作させなくするには

電源「入」のときに ◴再生/録音 押して“ ◴ PLAY ”（おめざめタイマー）または“ ◴ REC ”（留守録タイマー）を消灯させる。（動作させるには、もう一度“ ◴ PLAY ”または“ ◴ REC ”を点灯させる。）

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます

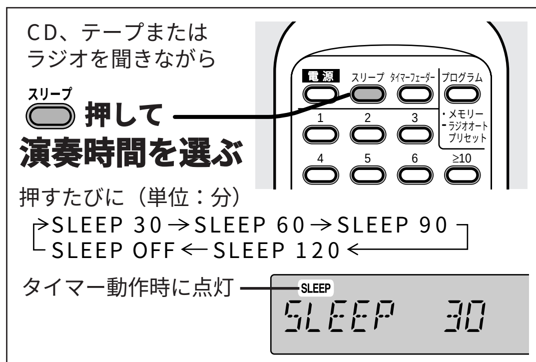
操作後は、必ず電源を切ってください。

- テープのタイマー動作は、電源を切る前に表示されている走行方向で動作します。演奏を楽しんだあとは、タイマー動作するデッキとテープの走行方向（“ ▷ ”または“ ◁ ”）を確認してから電源を切ってください。

おやすみタイマーを使う

リモコンのみ

設定した時間になるとソースの演奏を停止し、電源が切れます。



押すたびに（単位：分）

SLEEP 30→SLEEP 60→SLEEP 90→SLEEP 120→SLEEP OFF

タイマー動作時に点灯

■解除するには

"SLEEP OFF"が表示されるまで、スリープ ポンポンと押す。

■残り時間を確認するには

スリープ 一度だけ押す。

残り時間が約5秒間表示されます。

■設定時間を変えるには

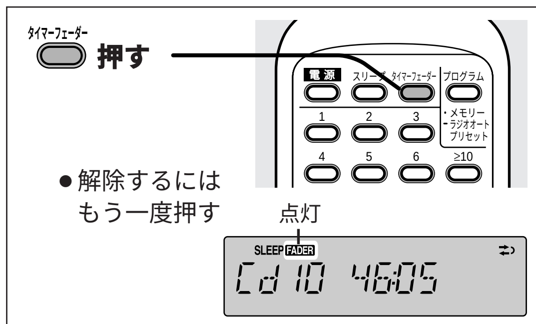
スリープ ポンポンと押して、好みの時間を表示させる。

> **ご参考** おやすみタイマーを組み合わせて使う
>
> おやすみタイマーは、おめざめタイマー、留守録タイマーと組み合わせて使えます。
> 常におやすみタイマーが優先するため、予約時間が重ならないようにしましょう。

タイマーフェーダー機能を使う

リモコンのみ

タイマー動作時の音量をおめざめ時には徐々に大きく、おやすみ時には徐々に小さくします。



お知らせ

- "FADER"表示中は、すべてのタイマーにタイマーフェーダーが働きます。（留守録タイマー時は、録音されるテープには影響しません。）
- タイマーフェーダーは、"FADER"表示を消さない限り、毎日働きます。

海外で使うときは

ご使用になる地域によって周波数ステップを切り換えます。（ワールドワイドチューナー）

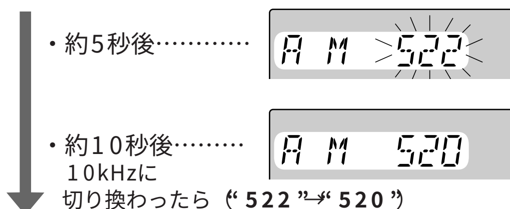
■AM放送の受信

北米、中南米、東南アジアの一部の地域で使うには、周波数ステップを9kHzから10kHzに切り換えます。

10kHzに切り換えるには 本体のみ

"FM"表示中に、周波数が下図のようになるまで、

FM/AM ラジオ 押し続ける。（約10秒間）



10kHzに切り換わったら（"522"→"520"）

ボタンから指を離す

元に戻すには、もう一度同じ操作をします。

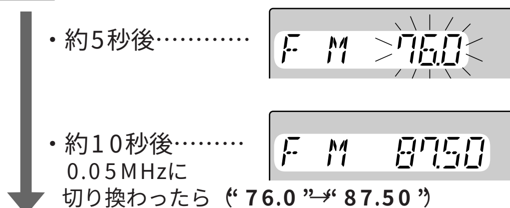
■FM放送の受信

海外（一部の地域を除く）で使うには、周波数ステップを0.1MHzから0.05MHzに切り換えます。

0.05MHzに切り換えるには 本体のみ

"AM"表示中に、周波数が下図のようになるまで、

FM/AM ラジオ 押し続ける。（約10秒間）



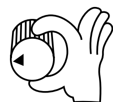
0.05MHzに切り換わったら（"76.0"→"87.50"）

ボタンから指を離す

元に戻すには、もう一度同じ操作をします。

お知らせ

- ステップを切り換えると、プリセットチャンネルの記憶は消えます。（⇨16ページ）
- おめざめタイマーまたは留守録タイマー（⇨22～23ページ）で放送を予約していたときは、タイマー動作の設定は解除されます。

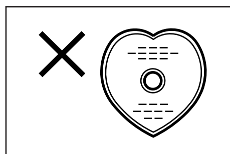
> **音のエチケット**
>
> 楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
>
> 
>
> 音のエチケット
> シンボルマーク

CD について



のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート形など特殊形状のCDはご使用にならないでください。
(機器の故障の原因になります)



■**取扱上のお願い**
CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

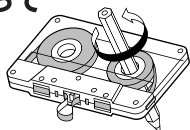
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
  (汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきをしてください。)
- 紙やシールを貼らない
  (セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがしたあとがあるものは使わないでください。)
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない

テープについて

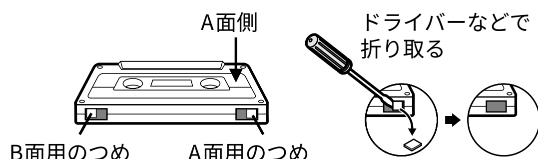
■**100分を超えるテープ**
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。
(回転部に巻き込まれることがあります)

■**エンドレステープはオートリバース対応のものを**
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

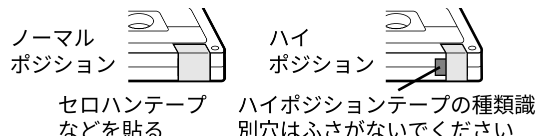
■**テープのたるみは巻き取ってください**
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



■**録音したテープを誤って消さないために**



● **もう一度録音するには**



著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3502-6551
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (0196) 52-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
大宮支部	☎ (048) 643-5461
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5286-1671
立川支部	☎ (0425) 29-1500
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 583-7590
北陸支部	☎ (0762) 21-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大阪北支部	☎ (06) 6244-7077
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (0878) 21-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285
鹿児島支部	☎ (0992) 24-6211
那覇支部	☎ (098) 863-1228

お手入れ

■**本機が汚れたら**
柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■**CDを良い音でお楽しみいただくために**
専用クリーナーで、レンズを時々清掃されることをおすすめします。
推奨品(別売り):CDレンズクリーナー(品番RP-CL510)

■**テープの音を、よい音でお楽しみいただくために**
定期的にクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。
推奨品(別売り):クリーニングテープ(品番RT-CCL)

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
システム全体に共通	**“ E ”が表示された。**	誤った操作をしていませんか。 取扱説明書を読んで、操作し直してください。	14、19 22～23
	“ U01 ”が表示された。	乾電池が消耗していませんか。 新しい乾電池を使うか、家庭用コンセントを使ってください。	6
	“ U02 ”が表示された。	メモリー乾電池しか入っていません。 乾電池を入れるか、電源コードを接続してください。	7
	“ 0：00 ”が点滅表示している	時計が動いていません。 時計を合わせてください。	7
	予約時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか（おめざめ、留守録タイマー）。 電源を切らないと動作しません。	22～23
		表示（◴ PLAY、◴ REC、SLEEP）が点灯していますか。点灯させてください。	22～24
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	再設定してください。 メモリー保護のため、メモリー用乾電池を入れておくことをおすすめします。	7
CD	**演奏できない。** **CDを入れても曲数などが表示されない。**	● CDが表裏逆になっていませんか。 ● 規格外のCDを使っていませんか。	8、25
		CDがひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。	
		寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。 1時間ほど待ってください。	
	特定の箇所が演奏できない。	CDが汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	25
テープ	**録音できない。**	テープのつめを折っていませんか。 折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。	25
	雑音が多い。 **音質がよくない。**	ヘッドが汚れていませんか。 クリーニングテープ（別売り）を使って、清掃してください。	25
ラジオ	**雑音が多く、うまく選局できない。**	アンテナの向きなどが悪くありませんか。 アンテナを調整してみてください。	9
	雑音が入る。	テレビ、ビデオ、BSチューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	
		他の機器のリモコンを近くで使っている場合は、リモコンを離してください。	
	テレビ放送が受信できない。	ラジオはFMバンドになっていますか。 テレビは1～3チャンネルの音声のみ、FMバンドで受信可能です。	9

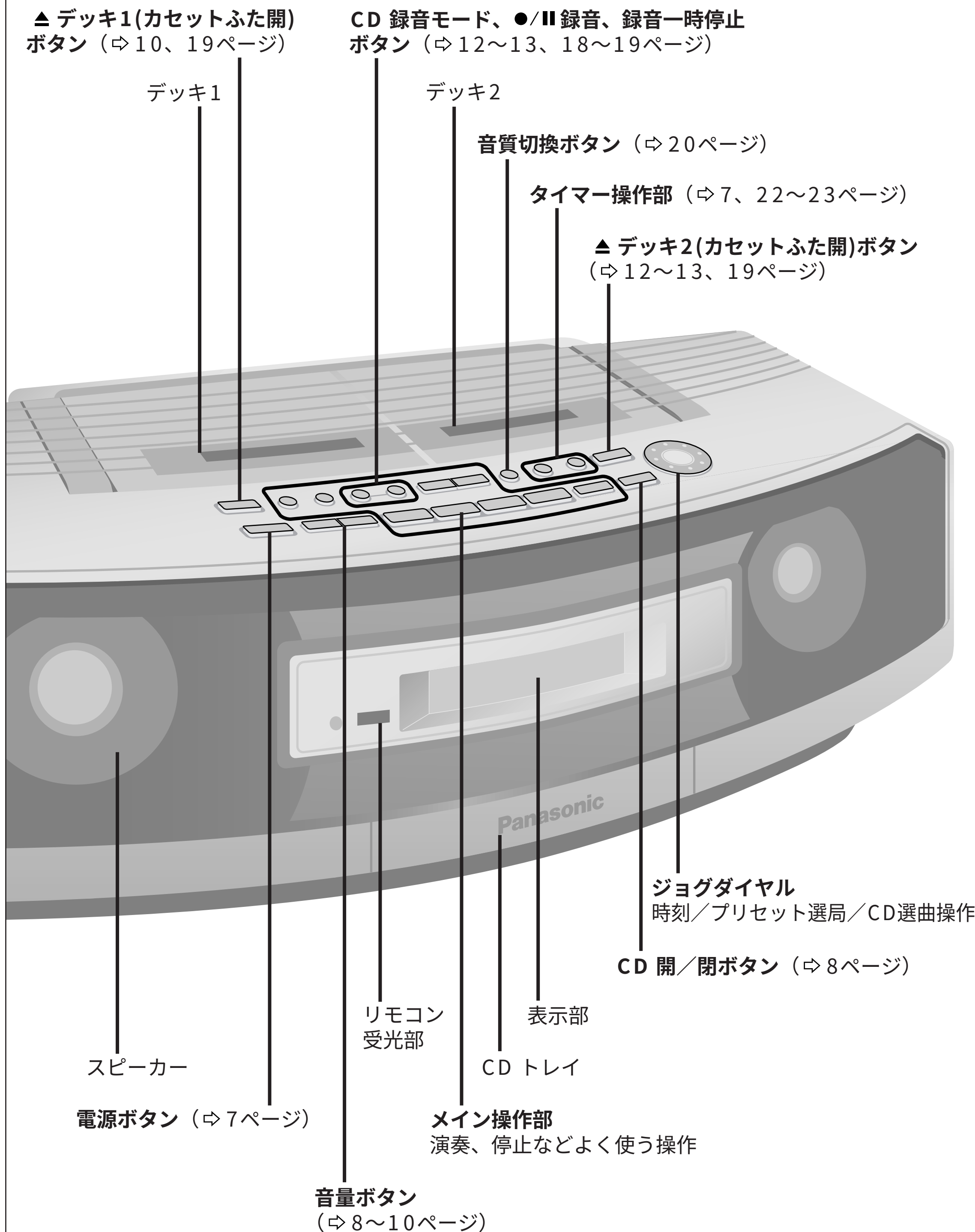
	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
リモコン	リモコンが動かない。	●乾電池の ⊕ ⊖ が逆に入っていませんか。 ●乾電池が消耗している場合は、新しい乾電池と取り替えてください。	2
		本機との間に障害物はありませんか。	2
	リモコンで電源が入らない。	乾電池電源で使用していませんか。 乾電池電源のときは、本体の電源ボタンを押してください。	6

Q&A

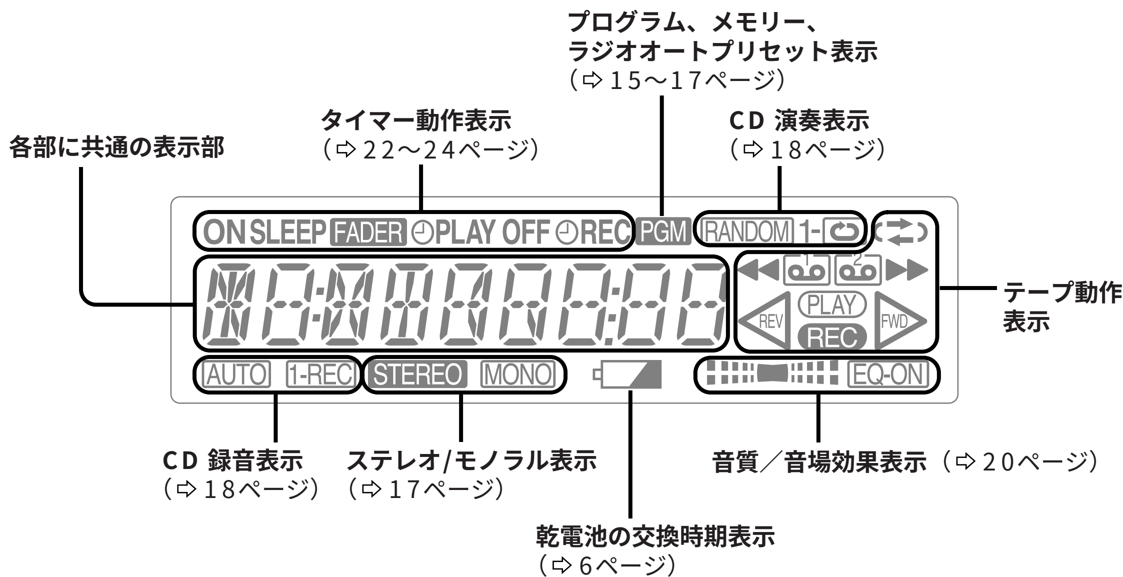
Q（質問）	A（回答）
マイクを接続したい。 本機でカラオケができますか？	マイク端子はありません。 カラオケはできません。
自分の声を録音したい。	内蔵マイクがありませんので録音できません。
TVの音をテープに録音できますか？	FMでTV1ch～3chを受信できます。 他の局は受信できません。
録音中に、音量や音質を変えたらどうなりますか？	録音中に音量や音質を調整してスピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。
CDやラジオを聞いているときテープ操作はできますか？	本機では操作できません。 リモコンで操作できます。
タイマーの設定内容を消したい。	一度設定した内容は変更できますが、消すことはできません。 “ ◴ PLAY ”または“ ◴ REC ”表示を消してタイマー動作させなくすることができます。
引っ越ししても、そのまま使えますか？	東日本、西日本に関係なく使えます。 ラジオの放送局メモリーは変更してください。

各部のなまえ

本体（操作部）

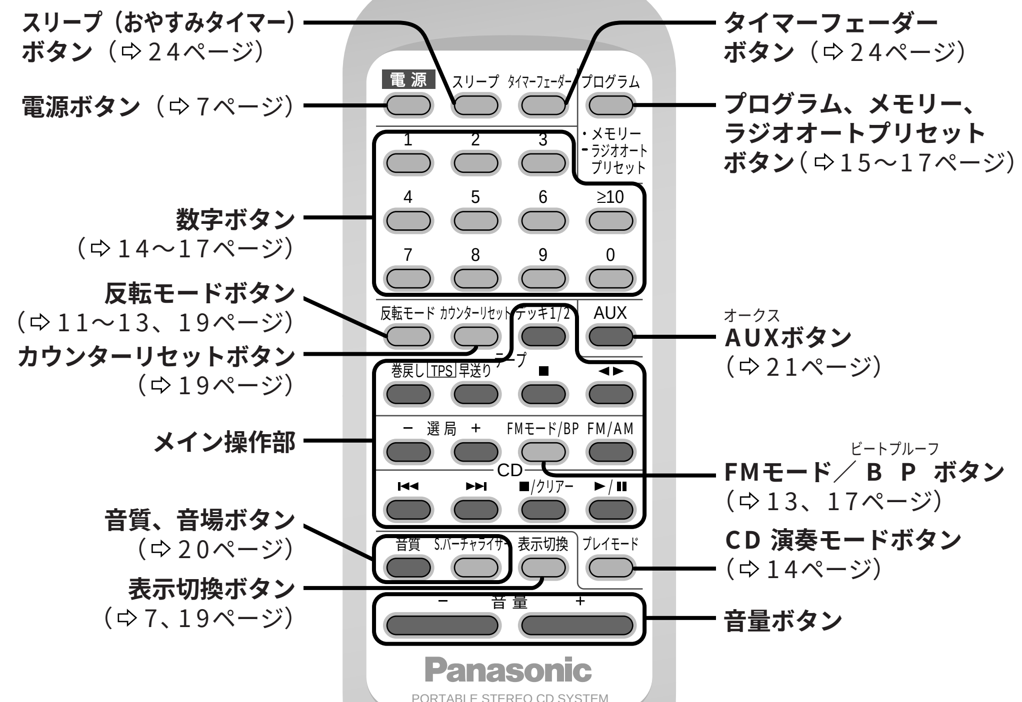


本体（表示部）



リモコン

のボタンは本体と同様の名前のボタンと同じ働きをします。



保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
26～27ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、ポータブルステレオCDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

パナは　365日
0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック **海外ご相談センター**

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0199

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

- **札幌** ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
- **旭川** ☎ (0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号
- **帯広** ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南1丁目7-11
- **函館** ☎ (0138)48-6631 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

- **青森** ☎ (0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37
- **秋田** ☎ (018)826-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2
- **岩手** ☎ (019)639-5120 盛岡市羽場13地割30-3
- **宮城** ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2
- **山形** ☎ (023)641-8100 山形市流通センター3丁目12-2
- **福島** ☎ (0243)34-1301 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

- **栃木** ☎ (028)632-8450 宇都宮市中央1丁目8-13
- **群馬** ☎ (027)352-1217 高崎市萩原町沖中205-18
- **水戸** ☎ (029)225-0119 水戸市柳河町309-2
- **つくば** ☎ (0298)64-8090 つくば市花畑2丁目8-1
- **埼玉** ☎ (048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2
- **千葉** ☎ (043)208-6011 千葉市中央区星久喜町172
- **船橋** ☎ (047)334-5111 船橋市本中山6丁目11-7
- **柏** ☎ (0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
- **東京** ☎ (03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
- **山梨** ☎ (0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27
- **神奈川** ☎ (045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16
- **新潟** ☎ (025)286-7725 新潟市東明1丁目8-14

中部地区

- **石川** ☎ (076)294-2683 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
- **富山** ☎ (0764)32-8705 富山市寺島1298
- **福井** ☎ (0776)54-5606 福井市開発4丁目112
- **長野** ☎ (0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7
- **静岡** ☎ (054)287-9000 静岡市西島765
- **名古屋** ☎ (052)819-0225 名古屋市瑞穂区塩入町8-10
- **岡崎** ☎ (0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
- **岐阜** ☎ (058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
- **高山** ☎ (0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
- **三重** ☎ (059)255-1380 久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

- **滋賀** ☎ (077)582-5021 守山市勝部町6丁目2-1
- **京都** ☎ (075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1
- **大阪** ☎ (06)6359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7
- **奈良** ☎ (0743)59-2770 大和郡山市椎木町404-2
- **和歌山** ☎ (0734)75-1311 和歌山市中島499-1
- **兵庫** ☎ (078)272-6645 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

- **鳥取** ☎ (0857)26-9695 鳥取市安長295-1
- **米子** ☎ (0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33
- **松江** ☎ (0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19
- **出雲** ☎ (0853)21-3133 出雲市渡橋町416
- **浜田** ☎ (0855)22-6629 浜田市下府町327-93
- **岡山** ☎ (086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807
- **広島** ☎ (082)295-5011 広島市西区南観音8丁目13-20
- **山口** ☎ (0839)86-4050 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

- **香川** ☎ (087)868-9477 高松市勅使町152-2
- **徳島** ☎ (0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
- **高知** ☎ (0888)66-3142 南国市岡豊町中島331-1
- **愛媛** ☎ (089)971-2144 松山市土居田町750-2

九州地区

- **福岡** ☎ (092)593-9036 春日市春日公園3丁目48
- **佐賀** ☎ (0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄896-2
- **長崎** ☎ (095)830-1658 長崎市東町1949-1
- **大分** ☎ (097)556-3815 大分市萩原4丁目8-35
- **宮崎** ☎ (0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
- **熊本** ☎ (096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
- **天草** ☎ (0969)22-3125 本渡市港町18-11
- **鹿児島** ☎ (099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目5-33
- **大島** ☎ (0997)53-5101 名瀬市矢之脇町10-5

沖縄地区

- **沖縄** ☎ (098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

ラジオ

受信周波数
- **FM**：76.0～90.0 MHz,TV1ch～3ch（0.1 MHzステップ）
  ：87.5～108.0 MHz（0.05 MHzステップ）
- **AM**：522～1629 kHz（9 kHzステップ）
  ：520～1710 kHz（10 kHzステップ）

テープレコーダー

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：交流消去
モニター方式：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲
- **ノーマルポジション**：30 ～16000 Hz（EIAJ）
- **ハイポジション**：30 ～17000 Hz（EIAJ）

CD プレーヤー

標本化周波数：44.1 kHz
複合化：16 ビット直線
光源：半導体レーザー（波長 780nm）
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
DA コンバーター：MASH（1 ビット DAC）

リモコン

電源：DC 3 V、（単 3 形乾電池 2 個）
最大外形寸法
（幅×高さ×奥行）：55×150×25 mm（EIAJ）
質量：約 97 g（乾電池を含む）

メモリー

電源：DC 6V、（単 3 形乾電池 4 個）
電池持続時間：約1年間
（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時）

共通

スピーカー：8cm 丸形 6.0 Ω　2個
入力端子
- **MD/AUX**：M3 ステレオ（33 kΩ）

出力端子
- **OPT DIGITAL OUT(CD)**：デジタル（光）
- **PHONES**：M3 ステレオ
  ：適合ヘッドホンインピーダンス　16～64 Ω
- **LINE OUT**：M3 ステレオ（1 kΩ）

実用最大出力（DC時）：総合 20 W（EIAJ）
電池持続時間
- **ラジオカセット部**：約 4 時間 30 分（EIAJ ラジオ録音時）
  約 2 時間 30 分（EIAJ音楽再生時、音量47程度）
- **CD 部**：約 4 時間（CD 連続録音時）
  約 2 時間 30 分（CD 連続演奏時）

（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R20PU使用時）

電源
- **電灯線**：AC 100V、50/60 Hz
- **乾電池**：DC 12V、（単 1 形乾電池 8 個）

・乾電池の代用として充電式電池を使わない。

消費電力：AC 26 W
最大外形寸法
（幅×高さ×奥行）：490×142×291 mm（EIAJ）
質量：約 5 kg（乾電池なし）
：約 6 kg（乾電池を含む）

注）● 乾電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源スイッチ「切」時の消費電力：1.0 W（ACのとき）

愛情点検　長年ご使用のポータブルステレオCDシステムの点検を！

こんな症状はありませんか		このような症状の時は使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。
	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音が出ないことがある • 正常に動作しないことがある • 商品に破損した部分がある • その他の異常や故障がある	

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	RX-ED50
販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT5109-2S
M0699X2010